

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AU324／哲学講義 7 (Lectures on Philosophy 7)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	死生論		
担当者名 (Instructor)	須藤 孝也(SUTO TAKAYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	PCW2000	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

死生論に関する主要な議論について哲学することで、生と死の関係について理解を深めることを目標とします。

We deepen our understanding on relationships between life and death by philosophizing about some major arguments on Thanatology.

授業の内容 (Course Contents)

こちらから死生論に関する主要な議論のいくつかを紹介、解説する。それを踏まえつつ主要な論点について全員で議論を深めます。

I indict and explain some arguments on Thanatology. Based on it, all members discuss key points.

授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション
2. プラトンの議論について
3. アリエスの議論について
4. 死生論の射程
5. 死生論と生命倫理
6. 死生論における権力の問題
7. 死と他界
8. キリスト教の死生論
9. ショーペンハウアーの死生論
10. 日本の死生論(1)文化
11. 日本の死生論(2)文学
12. 日本の死生論(3)宗教
13. 日本の死生論(4)戦没者とうどう関わるか
14. 補足と総括

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

テキストの1部(20ページほど)を前もって読んできてもらうことがあります。
授業中に紹介する文献のうち1冊は読んでください。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 平常点(60%)

テキスト (Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. フリップ・アリエス、1983、『死と歴史』、みすず書房 (ISBN:462200447X)
2. プラトン、2019、『パイドン』、光文社 (ISBN:4334754023)
3. 島菌進、2012、『日本人の死生観を読む』、朝日新聞出版 (ISBN:4022599855)
4. 佐藤啓介、2017、『死者と苦しみの宗教哲学』、晃洋書房 (ISBN:4771027900)
5. 島菌進ほか、2008、『死生学とは何か』、東京大学出版 (ISBN:413014121X)
6. 熊野純彦ほか、2008、『死と他界が照らす生』、東京大学出版 (ISBN:4130141228)
7. 小佐野重利ほか、2008、『死と死後をめぐるイメージと文化』、東京大学出版 (ISBN:4130141244)

これ以外も適宜授業中に提示します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

学習効果を最大化するために、議論の進み具合、受講者数、授業形式によって、授業の内容や進め方は柔軟に変更します。

注意事項(Notice)